

2023.8

Vol. 186

くすのき

Kusunoki

題字：大学 宮崎彰夫名誉教授(日展評議員／雅号：葵光)

巻頭特集

2023年4月1日
樟蔭中学校・高等学校では、
小嶋信男新校長を中心に
新体制が始動。

こもればの窓

P.3

慈しみの心を育み多様性を受け入れる教育を目指して
前田 郁代さん

特 集

P.5

当時に思いを馳せる 樟蔭学園ゆかりの品々

SHOIN LABO

P.7

学生・生徒たちの成功は、私たちの成功でもあるのです。
トニー ミノティ先生



はばたけ、知性。

樟蔭学園記念館

2023年4月1日、樟蔭中学校・高等学校では、小嶋信男新校長を中心に新体制が始動。さらなる成長と発展を目指して、力強い第一歩を踏み出しました。



樟蔭中学校・高等学校

校長 小嶋 信男

Message

四月より楠野校長先生の後を引き継ぎました小嶋です。一昨年四月より二年間副校長をさせていただきました。それまでは公立高校教育にかかる仕事をさせていただいておりましたので、赴任当初は、伝統を感じる制服、整備の行き届いた施設設備、多様な興味・関心に対応する教育活動などに、「さすが私学だな」と感心していました。次に感じてきたことは、樟蔭で働く先生や職員の方々の樟蔭に対する思いです。転勤などがなく、長く勤めるということもあるのでしょうか、それ以上に樟蔭に対して熱く、深い思いを持っておられます。その思いがあるからこそ、授業や行事、そして部活動において樟蔭は全国に輝く成果を挙げてこられたのだと思います。そして樟蔭で育った生徒の皆さ

んが、社会の様々な場所で“社会に貢献する女性”として活躍されておられることが、まさにそれを表していると思います。三年を越える期間、新型コロナウイルス感染症により制限を受けてきましたが、今年度からは以前にもまして、樟蔭中学校・高等学校のいいところをさらに充実させてまいりたいと考えております。これまでの国・地域に加え、新たにイギリスや韓国への留学、国際交流や語学学習、ICTの活用によるSTEAM教育、課題の設定・研究・発表に取り組む探究活動など、次の時代を担える女性の育成に向け、さらに樟蔭中学校・高等学校は頑張っております。どうぞ応援をよろしくお願いいたします。



樟蔭高等学校

副校長 谷口 宏

思い返せば2020年4月7日、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言が出され、日本中さまざまな場面での“自粛”要請されている中で私の職務がスタートしました。あれから三年、コロナ禍が解けたことでのリスタートという気持ちで臨みたいと思います。

樟蔭高等学校は長い間、皆さまの熱意と努力によって大切に守られ、発展してきましたが、ここ最近は共学校ブームのあおりを受け、生徒集めに苦勞をしています。

しかし、海外ではイギリスを始め様々な国で「男女別学」が注目されています。女子高のメリットとして、「男子に頼む」という発想がなく、何ごとも自分たちで動くため、常に自分の能力を発見するチャンスがある、女子だけですべてのことを成し遂げて行く中で、協調性や創意工夫する力が育まれる、などが挙げられます。特に樟蔭生には「軽やかなフットワーク」と「圧巻の実行力」があると私は思っています。このような生徒の育成のため、生徒一人ひとりが自分自身を大切に、自己肯定感と自己実現を実現できる環境づくりをし、生徒たちが知識だけでなく、思考力や創造力を伸ばし、社会で活躍できる力を身につけるための教育を大切にしたいと考えます。

現場では、生徒たちの成長を全力でサポートすることが私たちの使命です。皆さまと共に、笑顔あふれる素敵な学校づくりを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

樟蔭中学校

副校長 猪俣 恵美子

建学の精神である「高い知性と豊かな情操を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成」の基礎を築き上げる大切な時期が中学校であると考えています。保護者の皆様と共に生徒一人ひとりを見守り、学習活動はもちろんのこと、挨拶、身だしなみ、言葉遣いなどのマナー面へアプローチしていくことを以前から実践している通りにこれからも続けて行きます。

また、個性を大切に、面倒見の良い楽しい学校生活を送ることができる女子校を目指すことも同じく続けて行きます。このように100年以上続く樟蔭の伝統や校風を継承していくことに尽力してまいります。

また、伝統や校風の継承だけでなく、時代に対応した取り組みも行っております。一人一台のiPadを教具として使用を開始してから数年が経ちました。現在は、スタディサブリのAI機能を活用し、自分に合った学習が可能な環境が整っております。学習の機会を自分のために有効に使うことができます。

台湾、韓国、ニュージーランドとの国際交流が再開し、7月には中3国際教養コースの生徒を対象にイギリス研修という新たな取り組みが始まります。

意欲さえあれば、なりたい自分になれる環境があり、生徒は生き生きと学校生活を送っております。女子校への逆風はありますが、樟蔭の伝統をさらに築いていくために、どうぞお力添えいただきますようよろしくお願い申し上げます。



慈しみの心を育み 多様性を受け入れる 教育を目指して

ワイローブルックインターナショナルスクール
代表兼園長

前田 郁代さん

大阪樟蔭女子大学 学芸学部 児童学科卒業(1988年3月卒)、米国ワイロック大学大学院修士課程(現ボストン大学ワイロック教育、人間発達学科)卒業。日米の二つの国籍をもつバイリンガルの娘の母としての顔も持つ。1998年東京都港区にて、ワイローブルックインターナショナルスクールを設立、2017年にIBプログラム(国際バカロレア資格)の認可を受けている数少ない幼稚園であり、現在も園長を務めている。近年は、幼稚園に関わる全ての方が、肌の色や、性別にとらわれずにハッピーに過ごせるコミュニティ作りに積極的に取り組んでいる。

✓ 樟蔭時代の学びが私の原点

高校生の頃、よく図書館に籠っては色々なジャンルの本を読み漁っていました。そんな中で出会った灰谷健次郎作「兎の眼」に感銘を受け、その時から子どもの教育について深く考えるようになりました。

大学時代で思い出すのは、恩師である大橋岑吉(おおはしんきち)先生との出会いです。物静かで優しく、どんなことにも「大丈夫ですよ、そのまま」で私たちの個性を大事にして伸ばしてくださる姿は、私が教育者としてキャリアを歩む上でモデルとなっています。卒業論文を制作する際、童謡「春よ来い」など作曲した弘田龍太郎氏を調べるために高知や東京へと奔走したときも、先生は温かく見守ってくださいました。

また、英語の授業では米田ボニー先生もいらっしゃいましたね。オペラの授業もあり、イタリアの歌曲「オンブラ・マイ・フ(Ombra mai fu)」を歌ったことを覚えています。あとは、リトミッククラスの先生である実野龍子(じつのたつこ)先生も印象に残っています。厳しくも面白



1987年度卒業アルバムより

い授業だったのですが、私は音楽に合わせて手と足を一緒に動かすことがあまり得意ではなくて……。すると先生がいつの間にかそばにいて「もっと動かしなさい」とおっしゃるんです。厳しい一方でポジティブかつ魅力あふれる先生でした。リトミックの授業ではグループやチームワークの大切さも教えてもらい、そこで経験した樟蔭が大切にする教育の形に、私が理想とする教育の原点があります。



卒業生の方々の活躍の様子をお知らせください。
TEL.06-6723-8152 | FAX.06-6723-8263

さまざまな分野でご活躍されている卒業生の情報をお寄せいただき、みなさまの力をお借りして、「こもれびの窓」で幅広い卒業生の姿をお伝えしていきたいと思ひます。身近でご活躍の卒業生の様子をぜひとも学園広報課までお知らせくださいますよう、お願いいたします。

✓ 多彩な経験を経て今に至る

樟蔭時代は幼稚園や乳児院などでも実習があり、さまざまな場所で子どもたちと関わりながら刺激を受けました。そのことが当時漠然と思っていた「いつかは40人ほどの子どもを集めた寺子屋のような小さな幼稚園を作りたい」という夢を描くきっかけとなりました。

樟蔭を卒業した後は、アメリカの大学院で幼児教育を学びながら現地の幼稚園でも実習を積みしました。帰国後はアメリカ大使館の幼稚園から依頼を受けて子どもたちに日本語を教えたり、恵比寿の幼稚園と縁があって園長を務めるなど様々なキャリアを歩みました。そして数々のバックグラウンドを活かして、1998年にワイローブルックインターナショナルスクールを設立しました。

✓ 樟蔭の教えが根付いた教育

ワイローブルックインターナショナルスクールでは現在、約30カ国130名ほどの子どもたちが在籍し、先生も英語圏を中心に10ヶ国以上から集まっています。本スクールの教育は、クリエイティビティや独立した思考、セルフエスティーム(自己肯定感)を身に付け、いかに楽しく学ぶかを重視しています。いわゆる探求型学習ですね。幼稚園では珍しく「国際バカロレア」を取得しています。

あとラーニングコミュニティ(子どもたちを軸としてスタッフ・保護者ともに関係性を築く)も一般のインターナショナルスクールと違った本スクールの特色です。樟蔭が大切にする教育の形であり、グループやチームワークの大切さも伝えています。「子どもたちを細かく見る、細かい気配りができる」という樟蔭の教えを創立時から実践し、保護者やスタッフによるコミュニティで子ども達の成長を温かく見守っています。



ワイローブルックインターナショナルスクール内の様子



✓ 樟蔭時代の友人が今では宝物

高校時代まで和歌山に住んでいましたが、樟蔭のことは「伝統ある学校」と母から聞いており、憧れを抱いていました。

いざ入学をしてみると気さくな人ばかりで、仲の良い友達10人ほどと近くのお好み焼き屋に食べに行ったり、スキーやテニスなど遊びにも出かけました。今でも交流が続いており、樟蔭の友達と会うと故郷に帰ったようにホッとした気持ちになります。

✓ 今の時代だからこそ学び続ける

実は今、ワイローブルックインターナショナルスクールではアンチ・バイアス・カリキュラムに力を入れており「幼稚園に関わる全ての方が、肌の色や、性別にとらわれずにハッピーにやっていけるコミュニティ」を目指して取り組んでいます。以前からLGBTQの保護者や教員はいますが、幅広いセクシュアリティを受け入れてどんな人も安心してコミュニティであり続けられるよう、差別に対するポリシーを作ったり保護者へのセミナーも行っています。めまぐるしく変わる今、時代が求める教育を追求し、変わりゆく社会に対応できるように、これからも子どもたちの成長を見守っていきます。



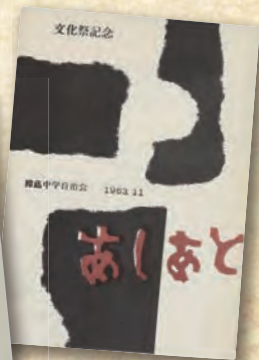
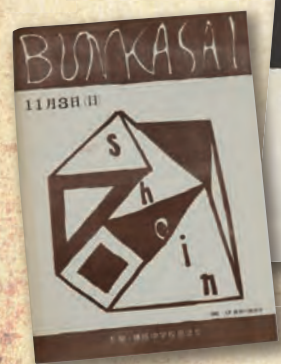
専門家による教員と保護者のためのワークショップ



1988年 高校体育祭



2007年 高校体育祭



覚えていますか？

樟蔭学園 ゆかりの品々

当時に思いを馳せる

1917(大正6)年、私立樟蔭高等女学校として設立認可されて以来、100年超の歴史を持つ樟蔭学園。学園には記念帖・アルバムをはじめ様々な資料や品々が所蔵されております。なかでも普段お目にかかれない貴重な品々をご紹介します。懐かしい樟蔭に触れていただき、世代を超えて知る新たな一面を体感してください。



藤田嗣治「猫」



井上円了書額



樟蔭ゆかりのもの(主に大正・昭和初期)をご寄贈ください。



寄贈先:企画調査部 学園広報課
〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
TEL.06-6723-8152 | FAX.06-6723-8263

学生・生徒たちの成功は、 私たちの成功でも あるのです。

The success of our students is
our success as well.



トニー ミノティ 先生

Tony Minotti

大阪樟蔭女子大学
児童教育学部 児童教育学科 准教授

Thought

トニー ミノティ (Tony Minotti) 准教授は、長年教壇に立たれており、大学のみならず中学校・高等学校、幼稚園にまで広く教えていただいております。今回は、専門の英語教育の教授法を中心に熱く語っていただきました。

01 日本人が外国語を学ぶということ

日本人が英語や外国語を学ぶ場合、特に考慮しなければならないポイントがいくつかあります。まずは“発音”で、それぞれの言語が持つ音やイントネーションに注意を払うことが重要です。次に“語順と文法”、日本語の文法が主語-目的語-動詞の語順であるのに対して、英語の文法は主語-動詞-目的語の順になります。このことを理解して学んでいけば、日本人も短期間で英語を使いこなせるようになるはずですよ。



02 幅広い世代を教えているからこそわかる

私の研究の大半は、先日発表した最新の研究論文とプレゼンテーションにもある通り、教授法の比較改善に関することです。語学学習におけるコンセプト理解について様々な教授法を試みています。例えば英語と日本語の両方を使って行う場合、生徒にとっては良いかもしれませんが英語力の向上は思ったほど伸びない一方、視覚教材やジェスチャーの助けを借りつつ英語のみの授業を行った場合は、英語能力の向上が速いということがわかりました。その他、幅広い世代を対象にした指導についても、例えば、園児には基本的な単語や歌、ゲームなど、遊び心と楽しむことに重点を置いて英語を紹介。高校生はスムーズな会話を目標に体系化されたカリキュラムに沿って指導、大学生は研究論文の書き方やプレゼンテーションの仕方などアカデミックなスキルに重点を置くなど、各世代独自の特徴に見合った教授法を実践しています。

03 私にとって、樟蔭生は“big family”



樟蔭学園に勤め始めて12年以上になります。最初は3コマ程度しか受け持っていなかったのですが、いつしか准教授になりました。樟蔭生は真面目でおとなしく、与えられた課題はしっかりこなしますが、コミュニケーションは苦手ですね。私は敢えてフレンドリーに接するよう心がけています。最初はびっくりして構えますが、次第に親しくなります。授業のときも、どうしたらコミュニケーション

が活発になるかを気にかけています。例えば初日の自己紹介、初めの人から名前を次々と繋げて発表してもらって、最後にはクラス全員の名前を言ってもらい、気が付けばクラス全員を巻き込んだやりとりを進めていくように心がけています。学生も最初はそれぞれ恥ずかしがっていますが、次第にほぐれてリラックスした雰囲気になります。そうすると家族みたいに“なんでも話して、聞いて、お手伝いもする”関係性が出来上がってきますね。長く働いていると、樟蔭生も今と昔で随分印象が変わったなど感じる時があります。昔は中学・高校からの樟蔭生と大学からの樟蔭生とグループが分かれることが多くありましたが、今はSNSの発展でしょうか、垣根は低くなりました。卒業してからも学生が訪ねてくれます。最近印象に残っているのは、現在ドバイ在住の学生ですね。入学時は心もとない感じだったのが、卒業後エミレーツ航空で働くまでになっていましたからね。もうすぐ結婚と聞いて驚いています。

04 コロナ禍の前と後で違う変化

一番大きな違いは、学生の集中力でしょうか？聞くだけの授業を90分持続させることが難しいです。途中で身体を動かすワークショップ的なものを入れるなど、授業の内容に工夫が必要です。また、SNSが発達して学生も変わりました。グループをつくったり、おしゃべりしたりが随分少なくなりました。会話などはすべてスマホにとって代わられましたね。友達づくりも大変になったのではないのでしょうか。あと私自身が国際英語学科から児童教育学科へ異動したことも大きいです。慣れるまでに時間がかかりました。国際英語学科の学生は学生自身が学びたい思いを優先しますが、児童教育学科の学生は取得科目が決まっていますので免許・資格内容によって優先順位が決まってきます。学生の雰囲気も全く違うので、慣れるまで時間がかかりました。



卒業生の皆様へのメッセージ

My wish for all of you is that you are proud of your own accomplishments. Try hard, if you need help, we will always be here for all of you.

Always dream, believe, and inspire. You hold the key to our future.

(私が皆さんに望むのは、自分自身の達成を誇りに思ってもらいたいということです。懸命に努力し、自分の限界を知り、助けが必要なら、私たちはいつでも皆さんのために力になります。常に夢を抱き、信じ、鼓舞してください。あなた方が私たちの未来への鍵を握っているのです。)



学 園

樟蔭同窓会総会、東京支部総会を開催



5月21日(日)、シェラトン都ホテル大阪(大阪市)で樟蔭同窓会総会が開催されました。総会では、野田圭子会長のあいさつから始まり、昨年の運営・活動報告、今後の活動についての報告が行われました。また、改選が行われ、野田圭子会長の再任をはじめ新副会長が決まりました。

パーティでは、卒業生で元宝塚歌劇花組娘役である若葉ひろみさんの歌とトークをお楽しみいただいた後、恒例の福引大会が行われました。参加された卒業生の皆さまは、終始和やかな雰囲気の中、楽しいひとときを過ごされました。

6月6日(火)には、東京支部総会が開かれました。会場は、世界的なホ

テルチェーン、マリオット・インターナショナルのホテルの一つである東京マリオットホテルB1Fゴテンヤマボールルームです。今回のアトラクションは、ハワイアンバンドのサウンドQが登場、プロ主催のライブに数多くのゲスト出演した実績があるだけに、華やかでゆったりとした音楽にのせて踊る日本有数のフラダンサーである太田真由美さんのダンスも素敵でした。

どちらの総会とも、最後に校歌を聞き、母校への思いを馳せながら和やかに閉会しました。

学 園

同窓会会長に野田圭子さんが再任

5月21日(日)に開催された同窓会総会で、新会長に野田圭子さんの再任が決定しました。

【樟蔭同窓会 会長のあいさつ】

卒業生の皆様の同窓会へのご理解とご支援に深く感謝申し上げます。

本来なら会長の任期は一期三年でございますが、前期は諸事情により任期を一年間延長致しました。

よって今期は二年間の任期となりますが、卒業生の皆様とお会いできますことを、心より楽しみにしております。

総会、バスツアー等同窓会の行事にぜひご参加ください。

樟蔭同窓会 会長 野田 圭子



学 園

叙勲のお知らせ

本学園の岩橋 昭監事が、地方公共団体等の公務や公共的な業務に長年にわたって従事され功勞のあった方を対象とした叙勲において、瑞宝小綬章を受章されました。おめでとうございます。



中学校・高等学校

樟蔭中学校・高等学校は、「第13回 身体表現コースクラブ発表会」を開催しました。

4月16日(日)東大阪市文化創造館にて、「第13回 身体表現コースクラブ発表会」を開催しました。本コースは、勉強とクラブ活動の両立を目標とし、2011年に樟蔭中学校に開設されました。身体を使った自己表現を中心に、さまざまな表現方法に挑戦することは、自分の身体的パフォーマンスを磨くだけにとどまらず、自己を表現する方法を学ぶことと同時に、他者の表現を受け入れる共感能力を育てることに繋がります。本イベントは、新体操、ダンス、バントワリング、ボンボンチアといった身体表現系の部活動に所属する生徒が、本格的な演技・演奏を披露する芸術発表会です。コロナ禍にもめげず勉強と両立し

ながら日々努力を重ねた生徒の雄姿は見る人を魅了し、感動に包まれた発表会でした。

また、樟蔭高校身体表現コースの生徒が、アイリッシュダンスグループ「トリニティ」来日公演「トリニティ・アイリッシュ・ダンス」(7月8日(土))に、賛助出演しました。

このダンスグループは、アイリッシュダンスの世界チャンピオンであり、5年ぶり8回目の来日でした。それに先立って、3月14日(火)、メインダンサーのシェキラ・サヴァンナ・キャロルさんと一緒に、アメリカの演出家・振付師のレッスンを受講しました。



中学校・高等学校

樟蔭中学校・高等学校のバントワリング部とボンボンチア部が、プロ野球オリックスの本拠地開幕シリーズのオープニングアクトに出演しました。

4月6日(木)、プロ野球オリックスの本拠地開幕シリーズのオープニングアクトに、中高バントワリング部とボンボンチア部が出演しました!

同月に、身体表現発表会を控えた忙しい時期ではありましたが、念願の大舞台ということで練習を重ねてきました。大観衆が見守る中、無事に演技を終えた生徒たちに、会場から万雷の拍手が起こりました。



中学校・高等学校

樟蔭中学校・高等学校が、インテル株式会社のSTEAM Lab実証研究の協力校に選ばれました。

Society 5.0 の実現に向けた教育では、AI / 機械学習、モデリング / シミュレーション、プログラミング、データ解析などの先端テクノロジーを活用し、社会課題の解決を図り、新たな価値を想像する人材の育成が求められています。本学も、環境を整備し、カリキュラム開発・授業支援など実践活動を進めており、この度、「インテル STEAM Lab」実証研究の協力校に選ばれました。拠点となる「ICT Lab.」には、最新型の高性能デスクトップPCや3Dプリンターなどを設置、充実した環境でICT教育に取り組んでいます。

